

第5回福島問題予備研究会 議事録 (案) rev-1

記録者；中尾

日時：平成27年5月18日(月)15:00~17:30

場所：化学工学会 会議室

出席者：小林，橋本，郷，松井，横堀，戸井田，中尾 (敬称略順不同)

討議資料

- #5-1 汚染水処理について (小林氏より事前送付)
- #5-2 NDFとの面談メモ (橋本氏より事前送付)
- #5-3 汚染水処理の現状とデータ解析 (橋本氏より紙面説明& 5・21 要旨送付)
- #5-4 その他 (横堀氏より説明；今年度活動予定、原子力講演会の案内)

議事内容：

1. 福島1F見学会日程確認 (6月23日)
2. NDFとの面談；4月16日、(資料#5-2)
 - *橋本、横堀が、沼田氏 (日揮)、佐川氏 (三菱重工)、宮地氏 (文科省) と面談。
 - *以下のことが確認できた
 - 1) 多核種除去：資源エネルギー庁の管掌で、司令塔はエネルギー庁の対策室。
 - 2) 仕事の流れ：発注元はエネルギー庁→元請 (東電、日立、東芝)
 - 3) 技術の窓口：塚田氏 (電中研原子力技術研究所次世代領域リーダー)
3. アルプスの現状解析 (橋本氏から報告：別紙参照)
 - A) 汚染水処理技術と処理実態のレビュー
インターネット上で公開されている各種資料を基に2011年3月から現在に至るまでの4年間にわたる間の汚染水処理として実施されて来た技術内容をレビュー。
 - B) 「高性能多核種除去設備タスクフォース」委員会資料にみる化学工学的検討課題
委員会資料については、化学工学的にもう少し踏み込んだ検討が出来るのではないかとと思われる内容が見受けられる。
 - *今後の進め方：公開吸着データを整理し、化学工学的な検討からの解決指針を提供→レポートの形で纏めて、化学工学会を含めた関係者に送り、意見を聞く。
4. その他 (今後の予定)

第6回福島問題予備研究会は6月29日 (月) 15:00~ @化学工学会館会議室

以上

